

JAいけども CREATION



今月の表紙写真は、昭栄南地区の市川浩吉さん（父・法康さん）家族です。

写真左から、浩吉さん、長女の結菜ちゃん（0歳）、奥さまの好美さんです。

CONTENTS

- * 農協法公布記念日 にあたって
- * しょくいくつうしん
- * 21NEWS アラカルト
- * シリーズ 協同組合と報徳 No.2
- * ベジフル歳時記
- * 金融共済課より
- * 農業祭のお知らせ
- * 営農部通信
- * 畜産部通信
- * 未来人
- * 農家の嫁さん
- * 今月の1枚
- * 理事会の動き
- * 編集後記

2014.

11
NOVEMBER
No.059



農協法公布記念日があたつて～平成26年1月19日～

北海道農業協同組合中央会 会長 飛田稔章

昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が制定され、今年で67年目を迎えました。

戦後の混乱期を背景とした中で、農業者の協同組織の発達を通じ、農業生産力の増進と農業者の経済的・社会的地位の向上をはかり、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され農協が設立しました。

言つまでもなく、農協は「農民による農民のための組織」として発足いたしましたが、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立つた中で、相互扶助の精神のもと、農協を拠り所として幾多の困難な課題を乗り越え、組合員の経営と生活の安定並びにより良い地域社会の構築に向けた事業展開を行なながら、今日に至っています。

また、農協法は、時代の変化に即して必要な改正をおこないますが、農協の組織・事業を運営する基本法として、重要な位置づけ・役割を担つています。

このよつた経過の中、現在、規制改革の名のもと、農協組織改革に関し、各般にわたる論議がなされております

が、農協法公布記念日を契機に、改めて農協が果たす社会的意義と役割について思いをはせ、共通認識を深める必要があります。

かかる状況のもと、JAグループ北海道はその時々の国の農業政策を実践してきたという自負のもと、「これまでの事業を再評価し、改めて組合員の皆様の多様な意見を把握すべく組織討議を実施いたしました。

これらの取組みをもとに、今般、「JAグループ北海道改革プラン一実行計画指針」としてとりまとめ、今後、その内容を踏まえ、JA・連合会・中央会は具体的な事業展開をはかることとしています。

「組合員の所得向上を通じた持続可能な本道農業の実現」と「農村地域の活性化を通じた豊かな地域社会の実現」

が肝要であるとの思いを新たにするものであります。

一方、日本の将来に関する重要な課題であるTPP交渉については、依然として十分な情報開示がなされていない中、各段階の交渉が進められております。

今後の動向は不透明かつ予断を許さない情勢にありますが、農畜産物の関税撤廃のみならず、ルール改定や規制

まとめました。

声明では、「2014年が国連の国際家族農業年として定められている中、

人達も、英知と力を結集し、その時々の困難な状況を乗り越えてきました。

いつの時代にあっても共通して言えることは、食料は命に直結するものであり、生活に欠かすことのできない極めて重要な位置づけにあるということです。

今般の日本政府の農協組織改革案は、農家による協同組織の結束と繁栄を脅かすものである」旨の懸念が示されています。

日本の農協組織に對して、国際的な組織から力強いメッセージが発信されており、自らの組織は自らの意志で運営し発展させていくという信念と覚悟が肝要であるとの思いを新たにするものであります。

一方、日本の将来に関する重要な課題であるTPP交渉については、依然として十分な情報開示がなされていない中、各段階の交渉が進められております。

今後の動向は不透明かつ予断を許さない情勢にありますが、農畜産物の関税撤廃のみならず、ルール改定や規制

で捉えねことが極めて重要であります。

我々、農業者・JAグループは、農業という生命産業に携わっているという責任感と自負心を持ち、併せて、農業・JAに対する国民の理解と共感を得る不断の努力を行なながら、先代が長年かけて築きあげてきた本道農業並びに農業協同組合の礎をさらに発展させ、後世にしつかり継承できるよう、共に頑張ろうではありませんか。

今後とも、本道農業並びにJAがますます発展することを心より祈念し、農協法公布記念日があたつてのご挨拶といします。

新たな動きとして、先般、傘下組合員10億人から成る国際協同組合同盟（ICA）が農協改革に関する声明を

青年部が
地域へ密着!!

ようじん



10月25日(土) 晴 第4回目作業



第4回目作業を終えて (本年度最終回)

10月25日、青年部食育事業の今年度最後の作業が行われました。

今回は黒大豆、落花生、ポップコーン、サツマイモの収穫を行い、子供たちは全ての作業を楽しんでくれて、中でもさつまいもと黒大豆の収穫を楽しそうに行っていました。

黒大豆は部員が刈ったものをシートの上に置き、から竿を使って脱穀しましたが、道具に慣れるのが早く、上手にから竿で豆を叩いて「いっぱい豆が落ちた！」と喜んでいました。

さつまいもの収穫ではツルを引っ張り大きな芋が顔を覗かせると「うわー！すごく大きい！」と楽しそうに掘り上げていました。

収穫が終わったあとは部員が焼き台を使ってサツマイモや事前に乾燥させておいたポップコーンを調理し、ご家族に振る舞いました。これもまた「おいしい！」と好評をいただき、部員とご家族が5ヶ月間頑張ってきた成果なのだと思います。

今年度の食育事業で植え付けから収穫、そして食べるまでの工程を体験していただき、普段口にしている野菜や作物がどのように作られているのかを分かって頂けたと思います。そして池田町の農業を知ってもらい地元産の作物に目を向けていただけたら嬉しく思います。それと共に生産者の努力や苦労なども僅かであれ伝わっていれば幸いです。

我々青年部員も今年度の経験をこれから食育事業を生かせるように精進していきたいと思います。

(記事・青年部支部長 十河耕大)

番外編

青年部が
地域へ密着!!

ようじん

食育事業で栽培・収穫した「じゃがいも」が給食に登場!! ～10月に3回に分けて給食で使用される～

6年生の給食の様子



の教室をお邪魔し、10月16日の給食の様子を取材させていただきました。16日は「豚汁うどん」の具材として、「じゃがいも」が入っており、児童たちからは「甘くて美味しい！」や「最初に全部食べちゃった！」との声が聞けました。食育事業に参加している子どもたちは、自分で育てた「じゃがいも」だと知ると、とてもビックリしており、クラスメイトからも「〇〇が作ったの!?凄いね～!!」との声が飛び交っていました。

食育事業に参加している児童は、「畑作業が楽しかった。自分で育てたものは、とても美味しい！」と話してくれました。

10月2日には「焼きポテト」・10月10日には「ピリ辛味噌汁」として使用して頂き、10月25日の食育事業で収穫した「さつまいも」は、12月の給食で使用して頂く予定となっております。

今後もこの様な、食育活動・地域貢献を展開していくならと思います。

当JA青年部主催で行っている「親子参加型食育事業」で栽培・収穫した、約100kgのじゃがいも（ホッカイコガネ）を給食センターへ寄付し、10月2日・10日・16日の3回に分けて池田町内の、小学校及び中学校の給食に使用して頂きました。

そこで今回は、池田小学校の児童で食育事業に参加している子ども達（2・3・4・6年生）



豚汁うどんを食べる子ども達

(記事・営農部営農課 遠藤由梨)

池田町給食センターの栄養教諭 神林さんからのコメント

ホッカイコガネ約100kgは「焼きポテト」(60kg)、「ピリ辛味噌汁」(20kg)、「豚汁うどん」(20kg)の具材に使わせていただきました。

「焼きポテト」はホッカイコガネを茹でてつぶし、バター・牛乳・チーズを混ぜ込み、1つ1つアルミカップに入れて焼きあげました。子ども達からも「おいしかった！」の声が多数ありました。

また、10月下旬に収穫した「さつまいも」は12月の給食で「さつま汁」と「さつまいもごはん」として使用させていただく予定です。

池田町の水・土・太陽の光と生産者さんの愛情でおいしく育った食べ物を、池田町の子ども達に食べてもらう。このような環境で給食を提供できることに感謝しています。



管 理 部

新採用職員研修を開催中

本年より新しい取組として農協事業内容理解を目的とした新採用職員研修を開催しています。4月に採用された職員5名を対象に8月より開催し、10月2日に2回目の

開催を行いました。

研修の特徴として講師は各担当部署から選任された職員が務め、新入職員が理解し易いように研修内容を工夫して作成しています。今回は折笠金融部長が講師を務め、組合員勘定制度を中心信用共済の金融事業について実施しました。研修会には新入職員の他に若手職員が自主的に参加し、金融事業内容の理解を深めました。

今後も継続して開催を行い、農協職員として組合員の負託に応えられる人材育成に努めてまいります。

(記事・管理部管理課長 秋野健太)



管 理 部

外部研修報告会を開催

10月28日（火）に農協本所大会議室においてJAカレッジの「一般職員研修（初級）」に参加した、農産課・三村太志職員と金融共済課・斎藤しいな職員からの外部研修報告会を行いました。

今回は、コミュニケーションに重点をおいた研修内容で、グループディスカッションやゲー



講師を務めた三村職員（右）と斎藤職員（左）



グループディスカッションの様子

ムなどを交えながら、参加した職員は自分の気持ちや考えを相手に伝える難しさ、大切さを改めて学ぶ機会となりました。

三村職員と斎藤職員は今回の一般職員研修を終え、「自分中心で考えるのではなく、相手の気持ちを理解する事が大切と感じた。今後はさらに相手の事を考えた話し方を心がけていきたい」と話し、大変有意義な研修会となりました。

(記事・管理部管理課 荻 悠哉)



池田消防署からの指導

管 理 部

J A本所・Aコープで 火災避難訓練を実施

J Aでは、防火意識向上と災害時の避難行動を身につけるため、火災を想定した避難訓練及び消火訓練を10月16日（木）に、Aコープ利別店（本年2回目）で、10月24日（金）には本所事務所で実施しました。

当日は火災報知機発報から、火災発生確認・初期消火・消防への通報、そして来店及び来所しているお客様と職員の屋外避難までの一連の訓練を行いました。また、本所事務所では、金融窓口やA T M室、2 F会議室等へのお客様も想定して、避難誘導を取り入れながら行いました。

終了後には池田消防署より、火災発生から避難終了まで4分で終了しており、全員落ち着いた避難行動であったと評価をいただきました。

このような訓練は、実際の災害時にお客様の避難誘導を職員全員が行えるように、身に付くまで繰り返し行う事が必要と考えております。

また、職員一人ひとりが災害に対する備えを怠ることなく、更なる防災意識向上のため、年度内に救命救急講習も開催する予定です。

（記事・管理部長 花本 敦）



消火訓練

生産資材課

生産資材課 構内ライン引き

生産資材課では構内ライン引きを行いました。土曜日午後からの作業にもかかわらず、各部からは大勢の応援をいただきましての実施となりました。

生産資材課では今まで白線などがなかった為、お客様には自由に駐車をして頂いておりましたが、事務所正面入口付近に駐車されると、他のお客様のご迷惑になりますし、また

危険であることから、事務所正面一体を駐車禁止区域とさせていただき、黄色線を引いて区別いたしました。また、事務所南側には来客用駐車スペースとして白線を引いております。今後は内部での積込場所やルールを検討し、更なる改善を図って参りますので、ご理解ご協力のほど宜しくお願ひいたします。

（記事・生産資材課長 遠藤泰志）



南側駐車場



正面入口の作業の様子

シリーズ
信用事業の
土台が報徳
精神にあり

現代の協同組合を
めぐる問題

現代では、マスク等から流されている新自由主義的な考え方により、競争主義からくる個人主義的傾向を拡大しているのが実情です。かつて小中学校の教科書には協同組合の記述があり、協同組合の社会的役割や重要性について子供達は学ぶ機会がありました。しかし、ゆとり教育の中でいつのまにか削除され、協同組合の相互扶助的重要性や仕組みさえも教えられていません。

信用事業の展開に
必要な知恵

現代では、マスク等から流されている新自由主義的な考え方により、競争主義からくる個人主義的傾向を拡大しているのが実情です。かつて小中学校の教科書には協同組合の記述があり、協同組合の社会的役割や重要性について子供達は学ぶ機会がありました。しかし、ゆとり教育の中でいつのまにか削除され、協同組合の相互扶助的重要性や仕組みさえも教えられていません。

日本の協同組合は信用事業から始まり、各地の報徳社が大きな役割を担ってきました。幕末から明治にかけて異彩を放つたのは二宮

協同組合と報徳

No.2



冬 至

ベジフル歳時記

シニア野菜ソムリエ KAORU

ない事に驚きます。そのため若い人々の中には、協同組合の役割を十分理解しているとは言えず、営利企業と協同組合の違いを理解している割合が低く、協同組合を取り先のひとつとしか見えない組合員の増加が懸念されます。組合員が相互に資金を融通し合うことを基本とした、協同組合の信用事業にも大きな影響を与えかねない事態であると思いません。

考え方をいち早く体系化しています。江戸時代の末期に複利の考え方に対する五常講による融資など、尊徳の教えにその原点があります。その後、報徳社の中で様々な金融教育を受けた人材が育ち、その後の信用組合（産業組合）設立の運動を押し進める原動力となりました。

日が強くなり始めると運気も上昇し始めるとされ、その日に「ん」の付く物を食べることでさらに「運」を取り込もうといふ「運盛り」という風習が今でも各地に残っています。特に、南瓜（なんきん＝かぼちゃ）、蓮根（れんこん）、人参

（じんじん）、銀杏（ぎんなん）、金柑（きんかん）、寒天（かんてん）、うどん（うんどん）のようないつの単語に一つ「ん」がある食べ物は縁起が良く、これらをまとめて「冬至の七種（ななくし）」といわれています。



(北海道報徳社
報徳生活読本より)

JA TOKACHI IKEDA

日本の協同組合は信用事業から始まり、各地の報徳社が大きな役割を担ってきました。幕末から明治にかけて異彩を放つたのは二宮

金融共済課より

同じく、本研究結果は清原又は、地盤を踏まて都合の良い方

JA十勝池田町
本所金融共済課 015-572-3131 池田支所

窓口営業時間

2014

お知らせ

農業祭

11/13~15
木 土

時間

午前9時30分～午後6時

但し、15日(土)は午後4時まで

場所

Aコープ利別店南側駐車場
特設ジャンボテント

- ☆連合大売り出し
- ☆地場農産物即売会
- ☆いけだ牛即売会
- ☆牛乳消費拡大キャンペーン

10俵

もちまき大会

とき/11月13日(木)
午後3時30分より

(株)虎屋 羊かん引き換え券
いけだ牛割引券・牛乳券・抽選券入り

JA共済交通安全落語

とき/11月14日(金)
午後2時から

ごめいろう たまのすけ
出演/五明樓 玉の輔

(株)御座候 実演販売

【池田町産 小豆・手亡使用】
とき/11月13日～15日の3日間

営農部通信

営農部
営農課

▶人間ドック受診の際の御連絡

後期人間ドックにつきまして、95名の方から申込がありました。受診する際に何点か注意事項がございますので、ご連絡致します。

- ① 今年度、国保の特定健診を受診していない方は、5月に役場から送付された受診券（黄色のA4版）を受診日当日必ず持参してください。
- ② 75歳以上の方で、今年度、後期高齢者健診を受診していない方は、5月に役場から送付された後期高齢者健診受診券（青色のA4版）を受診日当日必ず持参してください。
- ③ 受診券を紛失されている場合は、早めに役場の町民課保険係（☎ 572-3114）へ連絡して再発行を依頼してください。
- ④ 子宮がん・乳がん検診・大腸がん検診の無料クーポン券をお持ちの方は、人間ドックでも使用できますので、受診日当日持参してください。
※無料クーポン券を持参しなかった場合、払い戻しはできませんのでご注意ください。

▶家の光1月号のお知らせ

家の光1月号付録の「手作り食品12ヶ月」では、柑橘類の皮を使ったお菓子や摘果メロンのぬか漬けから、いま人気のレモン塩やゆずを使った調味料の作り方など沢山の保存食品を紹介しています。

その他にも家の光本誌では、農家の奥さん方が役立つ情報や、農業情勢なども分かりやすく掲載されております。

また、家の光は女性部事業の一環としても購読推進を行っておりますので、是非ご購読ください。

購読希望の方は、11月17日（月）までに営農部営農課（☎ 572-3131）まで、お申し込みください。

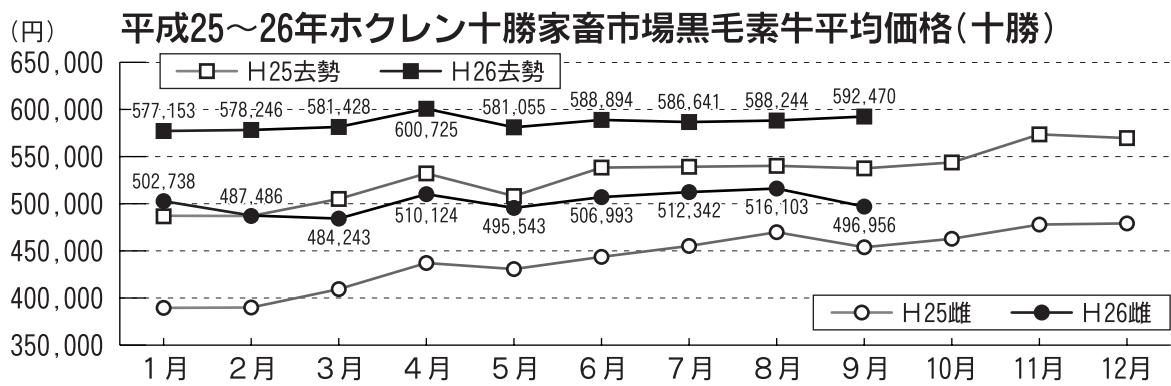
どうぞ、よろしくお願い致します。



家の光1月号〈別冊付録付き〉 1冊 906円（税込）

畜産部通信

畜産部
畜産課



9月黒毛素牛出荷区分別成績

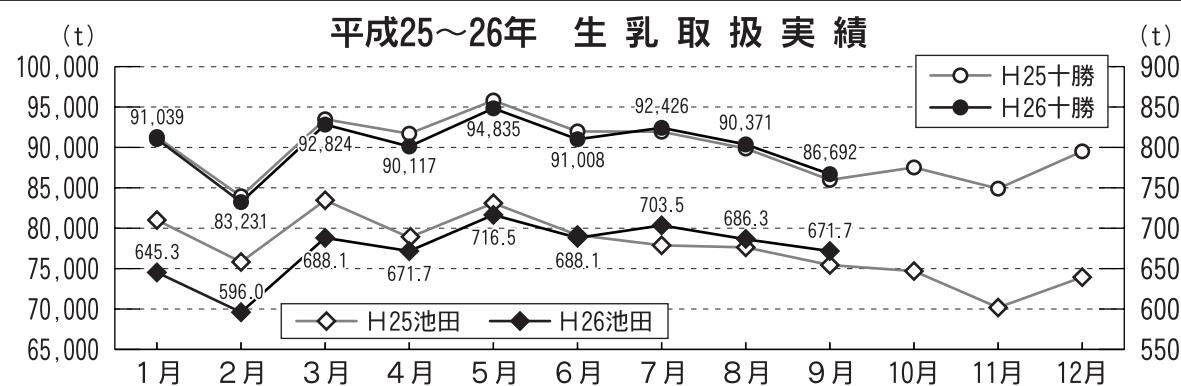
		取引頭数	平均価格(税込)	参加率・認定率
去勢	和牛素牛	678	592,470	
	マニュアル参加牛	441	602,231	65.0
	マニュアル認定牛	63	641,760	14.3
池田	和牛素牛	28	599,477	
	マニュアル参加牛	25	599,227	89.3
	マニュアル認定牛	7	609,737	28.0
雌	和牛素牛	506	496,956	
	マニュアル参加牛	328	501,091	64.8
	マニュアル認定牛	33	541,341	10.1
	和牛素牛	17	521,450	
	マニュアル参加牛	15	521,352	88.2
	マニュアル認定牛	2	570,780	13.3

9月ホクレン十勝枝肉市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
6日 20日	黒毛去勢	A-5	2,036
		A-4	1,886
		A-3	1,758
	黒毛メス	A-5	2,003
		A-4	1,874
		A-3	1,741
F1去勢	B-3	1,189	
	B-2	1,050	
	B-3	1,159	
	B-2	1,092	



平成25～26年 生乳取扱実績



9月ホクレン十勝乳牛市場

開催日	区分	取引頭数	平均価格(税込)
4日	乳牛育成	413	270,191
9日	乳牛初妊	429	535,005
	乳牛経産	70	292,510
25日	乳牛初妊	416	556,366
	乳牛経産	60	372,330

9月十勝中央家畜市場

区分	平均価格(税込)
乳牛オス初生	34,111
F1オス初生	164,582
F1メス初生	107,631
廃用牛	165,699



千代田南地区
ひ 樋 口 圭 洋 さん
(32歳)

Vol.5

未来人

Mirai Bito

プロフィール

家族は圭洋さん、父・和敏さん、母・千恵子さんの3人で畑作・肉牛を営む。

池田高校から札幌の芸術系の専門学校へ進学し卒業後、札幌で数年働いたあと就農。今年で9年目。

今年度から当JA青年部の会計を務める。

元々、農家を継ぐ気はない
く、ずっと池田にいる
必要もないという思いがあつた。と話してくれたのは青年部の会計を務める樋口圭洋さん。

そんな思いや、ラジオ関係の仕事を希望していたのもあって、池田高校を卒業後は札幌の専門学校に進学した。中学生時代は漫画の影響で、バスケットボール部に入部した。「入部したのは、演劇部の先生に『焼き肉おごつてやるから入らないか?』と言われたのがきっかけ」と言う。当時、学年ごとに演劇発表を行っており、それを観た演劇部の先生にスカウトされたそうだ。そこからは演劇へのめり込み、金道大会にも出場したと、とても楽しそうに話してくれた。また、ラジオ関係の仕事に就きたいと思ったのも、そこからきているとい

う。
就農するきっかけになつたのは、専門学校を卒業して札幌で働いていた時に家族が体調を崩したこともあり、池田へ戻ってきたそうだ。「家族が心配だつた」と家族思いの圭洋さん。

学生時代は、肥料の袋切りや牛の工事やりを手伝う程度で、機械作業などは就農してからが初めてだったという。1年目は教わりながら、やれる仕事から行い、「最初は何でも苦労した」という。今は畑の全ての作業を行う。「最初は何でも苦労したし、何でも失敗した」と言いい、「今は、それなりに出来るようになったかな」と思っています。

今は、後輩が気軽に話しかけてられる存在だと嬉しいと話す、「後は、尊敬してくれる存在だと嬉しい」と意気込む。仕事の方では、「大きい牛を育てたい」と話してくれた。





みんなで、
お喋りするのが楽しい



東台三愛地区
清水 真美さん
(37歳)

家
族
構
成

夫 孝悦さん (38歳)
長女 若菜ちゃん (13歳)
長男 優斗くん (12歳)
義父 豊さん (64歳)
義母 好枝さん (63歳)

- Q 出身地は？
A 土幌町です。
- Q 池田町に来てどう思いましたか？
A 土幌と同じくらい田舎だなあ～と思いました(笑)。
- Q 趣味・特技・マイブームは？
A 食べることが好きです。特にお肉!!
- Q 旦那さんの出逢いは？
A 高校生の時に知り合いました。
- Q 結婚する前は何をしていましたか？
A 実家が寿司屋を経営しており、そのお手伝いをしていました。
- Q 農家のお嫁さんになる事に不安はありましたか？
A 分からない事ばかりで不安でした。今も分らない事ばかりですが…。
- Q 農家に嫁いで良かった事は？
A 新鮮野菜が豊富。自然の中で、のびのびと生活できること!!
- Q フレッシュユミズに入って活動してみて、どんな所が良いですか？
A 皆で集まって、お喋りするのが楽しいです！
- Q これから抱負を一言！
A 子供も大きくなってきたので、これからもっと仕事を頑張ります！



理事会の動き

第8回

〈平成26年10月29日〉

★ 報告事項 ★

- (1) 組合員の脱退について
- (2) 農産物の集荷状況について
- (3) 組合財務の現況について
- (4) 平成26年度目標管理制度の各部目標及び中間面接結果について
- (5) 反社会的勢力との取引排除にかかる対応要領の制定について

★ 議 案 ★

- (1) JA全国監査機構一般監査における監査結果について
- (2) 反社会的勢力等への対応に関する規定の改正について
- (3) 相続による持分譲渡と新規加入承認願いについて
- (4) 組合員の出資金持分減口承認願いについて
- (5) 農業祭の開催について
- (6) 不良債権の処理方針（案）について



今月の1枚



店舗前で「漬物野菜市」を開催!!

今月の1枚は、10月24日（金）にAコープ利別店前で行われた、「漬物野菜市」の様子です。

当日は、もぎたて部会も野菜販売を行い、とても寒い中での販売でしたが沢山のお客様がいらっしゃってくださいました。

長いもを作付している方は、収穫作業の真最中でしょうか？10月のある日曜日、実家の長いものポール抜き・回収作業を手伝いました。トラクターの運転も父に言われるままですが：今のトラクター、レバー1つで前进・後進が出来るなんて！私が子供の頃とは大違い！しかし、トラクターの機能が良くなつたところで、私の運転技術が上がる訳もなく、畠の上を走つてしましました…。ごめんなさい…。収穫した長いもが、どうか折れてしまふように！！

(E)

**編
集
後
記**